

2020年6月23日

報道関係者各位

株式会社東急コミュニティー

港区立みなと科学館のプラネタリウム運営業務を受託 ～多様な運営実績を活かした総合力で来館者の満足度向上を目指す～

株式会社東急コミュニティー（本社：東京都世田谷区、社長：雑賀克英）は、東京都港区虎ノ門に新築された「港区立みなと科学館」について、指定管理者として館内のプラネタリウム運営業務を受託し、業務を開始いたしましたのでお知らせいたします。

港区立みなと科学館について

港区立みなと科学館は、国土交通省関東地方整備局と東京都港区がPFI事業により整備し2020年2月に竣工した複合用途ビル内に新設された施設で、建物内には気象庁庁舎の他、港区立教育センター、気象科学館等も入居しています。子どもから大人まで、楽しみながら科学を学ぶことが特徴で、大型映像装置を使った体験型の展示コーナーや学校の授業では実施が難しい理科実験、楽しく学べる実験・工作のワークショップを展開する実験室等を設けています。

施設内に設置されたプラネタリウムは、光学式+4Kデジタルのハイブリッドプラネタリウムにより、本当の空に近い星空と臨場感あふれる映像を実現。最新の宇宙観測データや宇宙開発などの話題を盛り込んだ番組や、港区の歴史や文化、観光資源など港区の魅力を発信するオリジナル番組を投影する予定です。

当社は指定管理者として、本施設のプラネタリウムの運営を担います。プラネタリウムについては、1988年より32年間に亘り公の教育施設や民間施設の運営を受託し、これまで全国で10件の運営実績がございます。解説員も社内にも有し、主に公の教育機関における学習投影から、専門的な星空解説、一般向けの投影などの番組制作までを手がけるほか、学校で使用する学習教材の作成にも長年携わっております。今回、本施設の運営にあたっては、博物館等の総合プロデューサーでトップクラスの実績を持つ株式会社トータルメディア開発研究所（本社：東京都千代田区、社長：山村健一郎）と協業し、科学館全体の運営をトータルメディア開発研究所、プラネタリウム運営は当社と、双方のノウハウを活かして運営する予定です。

なお、本施設は本年4月1日に開業し業務を開始しておりますが、新型コロナウイルスの影響により、4月1日～5月31日まで臨時休館しておりました。6月1日より一部開館、6月15日からは全面開館しております。プラネタリウムは4月1日より休止しておりましたが、6月15日の全面開館に合わせ、運用を開始いたしました。



東急コミュニティーについて

当社は、全国でマンション管理、ビル・施設マネジメント、公共施設管理運営を行う総合不動産管理会社です。マンションで 33 万戸、ビルで 1,100 件の管理実績があります。また、行政施設（指定管理者・PFI 等）については、ホールなどの文化施設・スタジアムなどのスポーツ施設や、空港関連施設など様々な用途の維持管理運営実績もございます。

今後も、総合不動産管理会社としてのこれまでの実績をベースに専門性を活かしたサービス提供を行い、来館者の満足度向上を目指した高品質かつ安定的な施設運営に努めてまいります。

<施設概要>

名 称 : 港区立みなと科学館

1F 常設展示コーナー、多目的ロビー、実験室

2F プラネタリウムホール

所 在 地 : 東京都港区虎ノ門3-6-9

開館時間 : 9:00 ~ 20:00

休館日 : 毎月第2月曜日、年末年始 ※年10日程度の臨時休館日有

入館料 : 施設内入場無料

プラネタリウムのみ有料

一般投影(1回分) 大人:600円、小学生・中学生・高校生:100円

【リリースに関するお問合せ】

経営企画部広報センター (担当:伊藤)

※このニュースリリースは、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会にお配りしています。